

	「奈良公園の玄関口に相応しい」について	「上質なホテル」について
中山委員長	<p>○敷地の優位性で考えますと、奈良の文化、自然、人材と連携しやすい地点にあることだと思います。</p> <p>○知的好奇心に対応できるような付加価値を高めるホテルが考えられます。むしろ規模は小さめで、利便性が高い方がいいと思います。</p> <p>○前日に日本の仏像についてレクチャーを受ける。ラグジュアリーホテルで休養しながら、興味があれば関連するバーチャル映像を見ることが出来る。翌日に興福寺、博物館を訪問し学芸員から説明を受ける。フランス語で。</p> <p>○前日に遣唐使、遣隋使などの歴史を大学の教員から学ぶ。翌日に、唐招提寺等を訪問する。中国語で。</p> <p>○日本の古代の都について学び、翌日に奈文研の方の案内で、平城宮跡を回るなど。</p> <p>○周辺と連携することで付加価値を高め、知的好奇心に応えるような高級ホテルはどのようにか。</p>	<p>○高級ホテルが必要という考え方は理解できます。</p> <p>○ただ難しいのは、当該敷地（近鉄奈良駅直近、敷地はさほど広くない、幹線道路に面しているetc）に立つ高級ホテルのイメージがわいてこないことです。</p> <p>○奈良町に建つ高級和風ホテル・町家をリノベーションした高級・一棟貸し、JR奈良駅前に建つ高層ホテル（一部にスイート）、国際会議場と一体化した高級ホテル、実現できるかどうかは別として奈良公園に溶け込むような高級ホテル等々はイメージできます。</p> <p>○当該敷地の場合、高級ホテルですと最大でも4階建て、2階以上に客室を作る場合、せいぜい20～40室。幹線道路に面した貴重な公有地を活用するため、どこにでも建てられるような高級ホテルではダメだと思います。</p> <p>○一つのイメージとして、奈良の文化財、自然をバーチャルで体感し、周辺でリアルにも体験できるようなホテルが浮かびます。その場合、ホテルだけで完結するのではなく、大学や博物館、美術館ともタイアップし、知的好奇心が満たせるようにする。高度なガイド（大学教員、学芸員etc、多言語対応）をつけることができる。当然ですが、バーチャルで提供できるソフトが重要です。通常の開館時間以外に入館できる等も重要です。敷地がさほど広くない、リノベーションできる歴史的な建物が無い、閑静な敷地周辺環境ではない等々を考えますと、ホテルの物理的な内容で勝負するのは難しいと思います。周囲にある様々な文化的施設、人材との連携によって、付加価値を高められるような工夫ができるかどうか重要です。</p> <p>○観光の問題点を踏まえると、高級ホテルが有力な選択肢となる</p> <p>○しかし、公有地、公共的な敷地であり、単なる高級ホテルは望ましくない</p> <p>○敷地面積を踏まえるとホテル内でサービスを完結させるようなタイプではない。利便性の高い敷地であるため、経済効果を周辺に波及させるためにも、周辺の施設との連携で様々なニーズにこたえるべきである</p> <p>○もともと地域経済の活性化に寄与してきた敷地であるため、新たな観光スタイルの提案につながるような高級ホテルにすべきである。つまり、既存の観光資源を訪問する旅行者のためのホテルにとどまらず、既存資源の付加価値を高めるようなホテルが望ましい</p> <p>○宿泊者だけでなく、誰でも訪れやすい開かれたホテルが望ましい。</p> <p>○当初は富裕層を対象とした新たな観光スタイルになるかもしれないが、将来的には中間層も享受できるような観光スタイルが求められる</p> <p>○奈良市中心部及び近接部の観光資源、各種施設等との連携により、知的好奇心に応えられるような新たな観光スタイルを提案する高級ホテル</p>

	「奈良公園の玄関口に相応しい」について	「上質なホテル」について
北口委員	<p>○奈良公園というのは、都市公園の範囲、名勝の範囲、あるいは高畑界限もふくめる広い範囲などにも分類できる。</p> <p>○そこには、社寺や住人、観光客など来訪者のほか、国、県の管理機関も共存・共有しているイメージがある。</p> <p>○奈良公園は皆が共存・共有できる空間といえる。</p> <p>○奈良公園の入口ということを考えると、歴史・文化資源なんかの伝統的なもの、伝統的工芸品とか伝統工芸士や人間国宝の人物や技にこの場所で触れたり体感することができれば奈良らしさがでてくるのではないかと思う。</p> <p>○奈良公園（「名勝奈良公園保存管理・活用計画」1頁に記載されているように）、1「名勝奈良公園」2「奈良県立都市公園奈良公園」3「1・2・を含めてた一般に認知されている奈良公園」。このことから「奈良公園」（一般に認知されている）があるのは、持ち主・管理主地である国・県・寺社と共に、住民のかかわり方（存在）が大きいと思います。なので、奈良公園の玄関口には、これらの人々の共有・共存できる空間が大切だと思っています。</p> <p>○奈良には 伝統文化資源が多くあります。正倉院御物、その高貴な品からデザインが生かされている物が歴史文化、上質さを感じさせてくれます。国指定の伝統的工芸品の「高山茶筌・奈良筆・奈良墨」、また、奈良県が認めているの伝統工芸品も多くあります。奈良時代から続いた人の技を感じさせてくれます。これら生かすことが出来ればよいと思います</p> <p>○国指定の文化財件数も多い。有形文化財・記念物などが多く、これらの中で過ごすことが出来ます。歴史的雰囲気を感じる事が出来ます。これも上質の一つの要因だと感じます。</p>	<p>○歴史を感じられる場所であり、歴史や自然と共存できるようなホテルがよい。</p> <p>○1人でもゆっくりできるようなホテルもよい。数名で旅行していても、宿泊は1人部屋がいいという需要もある。</p> <p>○「登大路ホテル」や「ふふ奈良」は、入口が構造的にも拒絶しており、敷居が高く入りづらいイメージがある。よその私有地に入っていくような感覚がある。</p> <p>○奈良には国指定の工芸品が3品目、県指定の20品目など展示・販売するのがいいのか体験するのがいいのか何がわからないが。</p> <p>○何か人のつながりができるような。奈良の食文化も資源なので、そういうものもありますよね。</p> <p>○入りやすい入口で皆に開かれた共有できる部分のあるホテルであってほしい。</p> <p>○正倉院や興福寺など奈良の歴史的を背景にできてきた文化、伝統工芸など。</p> <p>○奈良の伝統的な文化が体感でき共存できる空間、住民や来訪者と共有・共存できる空間となるような宿泊施設になればと思う。</p>
下山委員	<p>○奈良の強みというのは、本物の日本らしさ、奈良らしさ、歴史が味わえることであり、日本の原点を感じられること。</p> <p>○地域活性化の観点からみると、まず1点目は、奈良県が普段ターゲットにできていなかった層を包括できるホテルが望ましい。</p> <p>○一方で、奈良の玄関口にふさわしい、奈良の強みを活かした、という点から見た上質なホテルの具体化としては、一つは、奈良公園の景観を邪魔しないホテル、歴史と伝統を考えると、歴史的な奈良公園の入口に対して、中長期にわたって趣があり続けることのできるホテル。</p>	<p>○地域活性化の観点からみると、まず1点目は、奈良県が普段ターゲットにできていなかった層を包括できるホテルが望ましい。</p> <p>○高級なホテルだからといって、キンキンキラキラなホテルでは困るということ。</p> <p>○奈良の自然環境を長期に守ってくれるような、奈良公園と共に歩んでいけるような、意思を持ったホテル運営をしてくれること。</p> <p>○更に、他の奈良にある観光地や住民、大学と広く連携ができる、奈良公園周りにあるステイクホルダーとの連携ができるということが具体化できるホテル。</p> <p>○これらの理念、思いを組み入れたコンペ方式による誘致が望ましい。</p>

	「奈良公園の玄関口に相応しい」について	「上質なホテル」について
福井委員	<p>○奈良には二千を超える重要文化財があり、他に類を見ない充実さがある。</p> <p>○奈良公園には、豊かな自然や生き物との触れあい、社寺での歴史に裏打ちされたスピリチュアルな伝統行事、春日原生林での自然体験、燈花会など様々なイベント参加が可能なため、ホテル自体にアクティビティ機能は必要ないと思料。ただし、法隆寺の門前宿「和空」で、毎夕開かれている奈良の歴史、文化を学べる語り部等 によるレクチャー機能はあってもよいと思う。</p>	<p><誘致ホテルのイメージ></p> <p>○一体整備を図る土地の筋向かいには、和風ホテルの「春日ホテル」、スモールラグジュアリーホテルの「登大路ホテル」が立地、営業していることから、これらのタイプに類似するホテルの誘致は除外することが望ましい。</p> <p>○ラグジュアリーホテルを誘致することになると、客室一部屋あたり相当程度の面積が求められるが、ホテルを建設する当該敷地について、面積、高さ制限等諸条件を考慮すると、一定の部屋数を確保するためには、ハイエンドの部類に属するシティホテルで宿泊客のニーズに応えられる4～5のグレードに属するタイプの客室を用意することが望ましい。</p> <p><施設・設備面></p> <p>○喧噪とは無縁の静謐な奈良公園のイメージアップになり、悠久の時の流れを感じながらゆっくり過ごし、長期滞在に繋がるホテルであること。例えば、宿泊者が誰でも利用できる専用のゲストラウンジを持ち、あらゆる世代が気軽に利用できる洗練されたサービス（モーニングタイム、アフタヌーンティタイム、カクテルタイムなど）を提供できること。</p> <p>○宿泊者の満足度を最優先とし、一般に提供する宴会場や会議室は必要ないと考える。</p> <p>○部屋の風呂に加えて、屋上等に奈良公園が展望できる大浴場の併設が望ましい。</p> <p>○一流のシェフによる伝統と地産地消が融合した質の高いレストランや、カフェは必要。</p> <p><ソフト・機能面></p> <p>○世界に誇る奈良公園が有する価値やプレステージをさらに引き上げる、お客様一人一人に応じたレベルの高いおもてなしを提供し、リピーターの確保に繋げる運営が出来るホテルの誘致が必須。具体には、お客様に対して常にさりげなく、目配り、気配、心配りが出来る接遇を身につけた従業員を配置出来るホテル事業者。</p>
二神委員	<p>○周遊・滞在型観光を目指すのであれば、平城京や西ノ京、法隆寺等の観光ルートの計画があってもいいのではないかと。今はそれぞれが点になっている気がする。</p> <p>○奈良公園基本戦略の奈良公園の価値に集約されると思う。「奈良公園は国内外から年間1,000万人以上の来訪者が訪れる日本を代表する観光地であり、市街地に隣接した公園である。」「奈良公園は世界遺産である「古都奈良の文化財」をはじめとして、数多くの資源が存在している。」「奈良公園の価値とは、奈良公園の自然資源、歴史、文化資源、公園資源、及び書く資源が融合した独特の風致景観である。」</p> <p>○「奈良公園の玄関口に相応しい、奈良の強みを活かした、地域活性化につながる上質なホテル」という表現について、確かにその通りだが、その表現自体がありきたりでワクワクしない。ダサいように思う。もっと、朝の奈良公園が持つ凜と引き締まった空気（冷気）・風・光・肌を感じる何か・背中がぞわぞわする感覚・湿度みたいなものが表現されれば良いと思う。神様・仏様を身体で感じられる場所。神様を感じる。神様に逢える。いにしえの時代の風の中に立てる。五感（視覚・聴覚・嗅覚・味覚・触覚(皮膚感覚))で味わう奈良。</p> <p>○「奈良公園に相応しい」が表現されるべき。「どんな上質か」も表現されるべき。</p>	<p>○高級ホテルも幅がある。望むならば、最高級なスイートルームもあるが、中級階級が気軽に泊まれる親しみやすい高級ホテルであって欲しい。</p> <p>○6月12日のNHKニュースで、関西万博を見据えて、高級ホテルが大幅に不足 と言われている。どうせなら万博に併せて開業できればなお良い。</p> <p>○奈良公園の四季 奈良の二十四節気七十二候が表現できたら。早春の早朝 鹿の鳴き声 二月堂の朝 夜（燈花会 瑠璃絵） 正倉院 滝坂の道に佇む石仏 歩くときの空気 夕景の二月堂 北円堂無著・世親立像 法華堂 不空羅索観音 新薬師寺十二神将 興福寺阿修羅 戒壇堂四天王等、肌で感じられる仏像が数限りなく存在する。そのことを表現できたら。（for ex.十二神将に逢いに行く。）</p>